

伊豆半島広域事業 【伊豆・国際尺八フェスティバル】 2026 始動！

チラシ作成中！

情報 updated 8 月 15 日

10 月 11 日（日）オープニング ①夕 5 時開始 旭滝で伊豆市長挨拶・「瀧落曲」三人（志村・クリストファー・小濱）の吹き比べ演奏 演奏後 5 時半すぎにライトアップ開始 無料

10 月 12 日（月祝）コンサート ②知半庵（国登録有形文化財 江戸時代建築）午後 1 時半～3 時 日米の演奏者によるトーク含む。コンサート後の歓談、庭散策可 予約 3500 円・当日 3800 円

今、なぜ、伊豆半島で【国際尺八フェスティバル】か？

旭滝は**ダブルの魅力！**◆尺八の聖地（尺八曲「瀧落曲」の発祥地）国際的にも知られ◆重要な伊豆のジオ
尺八は**和楽器ブームの先鋒**◆最も国際化された和楽器 bamboo flute として国際的に注目度ナンバー

国際尺八フェスティバルはチェコ、テキサス、コロラド、ロンドンなどで
開催。その国際的な広がり国内ではまだ十分に知られていない。

伊豆の温泉と宿 ◆関東から日帰りできる伊豆。豊かな温泉、ノーベル賞・川端康成「伊豆の踊り子」で
IZU として知られ、文化交流の舞台として大きな可能性を持っている。

知半庵（ちはんあん）◆国登録有形文化材（江戸時代の庄屋：菅沼家住宅）の活用。

2007 年よりアートを通じて限定公開。フランスやアメリカ大使館後援、カナダ政府助成
を受け質の高い音楽会や展示を展開。静岡県文化財団より 2017 年度の地域文化活動奨励
賞受賞。2012 年、アメリカ大使夫妻・大使館員・フルブライト委員会など 30 名来訪。

主 催：伊豆市・伊豆アートセンター知半庵

特別協賛：雄大グループ 中伊豆ワイナリーヒルズ

地域協賛：古藤田商店 水谷石材 じょんのび café 中豆建設 三島信用金庫修善寺支店 グリーン土木
今井建設 TSUZUMI-いず美 ラフォーレリゾート修善寺 土屋建設 Lumber 大城工業
深瀬菓子店 篠木学園ハテピカキッズ *順不同

個人協賛：大村政義 亀井真理子 西原宏夫 土屋雄二郎 志太勤一 石黒邦彦 堀江弓子 杉山治子
（*以上、順不同）

協力：大平地区 地域づくり協議会 ベアード・ブルーワリー

後援：アメリカ大使館 日本伝統文化振興財団 邦楽ジャーナル Izuvian Republic 美しい伊豆創造センター
（以下、申請中）伊豆日日新聞 静岡新聞社・静岡放送 FM IS FM いずのくに

企画制作：知半アートプロジェクト（あわやのぶこ+チーム知半） 舞台監督：キミドリクラフト山下真之介

*** 今年は初回。来年より定例化予定。小さく産み大きく育て、伊豆半島の目玉の観光行事にする。

*** 伊豆の現代文化で半島を盛り立て 伊豆の再ブーム、持続可能な観光を起こす。

*** 伊豆での様々なイベントや場所と連動させ、伊豆半島をより魅力的で気軽に訪れる場所に。

連絡先 izuart.center@gmail.com tel 090-8306-9766 専用 fax 0558-76-2084

伊豆の国市吉田 623-1 伊豆アートセンター「知半庵」内

国際尺八フェスティバル準備会 栗屋・篠木

【伊豆・国際尺八フェスティバル】2026 資料 (出演者・場所)

旭滝	伊豆市観光情報サイト	https://kanko.city.izu.shizuoka.jp/sightseeing/asahidaki
	伊豆半島ジオパーク	https://izugeopark.org/geosites/asahidaki/
知半庵	文化遺産オンライン・母屋	https://online.bunka.go.jp/heritages/detail/243653
	文化遺産オンライン・門および堀	https://online.bunka.go.jp/heritages/detail/176624
知半アートホームページ概略など		chihan-art.com

2026 年の演奏家略歴

・尺八界の重鎮 2 人

志村禪保 Zempo Shimura

[志村禪保 - WSF2018](#)

江戸時代の「地無し尺八」研究・演奏の第一人者。音楽工学の視点から尺八の音色研究で博士号。2025 年度まで大阪芸術大学教授として教鞭を執り、虚無僧尺八研究で、全国各地の尺八の歴史を掘り起こす。一方で、未来型のサイバー尺八を開発しており、コンピュータ音楽創作でも活動。尺八の過去と未来を見据えている。1995 年、旭滝に瀧落曲の碑が建てられた際に虚無僧尺八研究会で献奏しており、今回、滝前での演奏は 30 年ぶり。

クリストファー遙盟 Christopher Yohmei <https://yohmei.com/jp-homepage/>

米国出身。1972 年に来日。東京藝術大学大学院で故山口五郎（人間国宝）に師事。演奏、作曲のみならず、1998 年に「国際尺八フェスティバル」を米国で立ちあげ、毎年開催される「プラハ尺八フェスティバル」上級顧問など世界各地の尺八フェスティバルに深く関わり、尺八を国際的に広めたキーパーソン。長年、東京の国際文化会館の芸術監督を務め、現在は米国在住。世界各地での演奏のみならず、大学講師として日本音楽を教え、邦楽に関する日英両語の著書多数。尺八を心の修行の最上の道具だと捉えている。合気道四段。

・国際的な活躍が目覚ましい若手奏者の代表格 2 人

小濱明人 Akihito Obama

<https://akihitoobama.com/>

同志社大学哲学科を卒業後、NHK 邦楽技能育成課修了。尺八新人王決定戦で優勝。2005 年「歩き遍路四国八十八ヵ所奉納演奏ツアー」を敢行。2012 年 Asian Cultural Council 助成でニューヨーク留学。2018 年より文化庁芸術祭参加講演『小濱明人尺八リサイタル』を連続開催。国際尺八フェスティバル（シドニー、プラハ、ロンドン、テキサス）、国際音楽祭ラ・フォル・ジュルネ（フランス・東京）招待演奏など海外講演は 36 カ国に上る。また、若手尺八実力奏者 5 人から成る The Shakuhachi 5 を立ち上げ。2020 年英国の藤倉大の委嘱作品「Shakuhachi Five for 5 shakuhachis」を世界初演。NY のメトロポリタン美術館での演奏も注目される。2022 年邦楽ジャーナルに「旭滝」を含む「尺八の聖地」を連載。旭滝にはたびたび訪れている。

黒田鈴尊 Reison Kuroda

<https://www.reisonkuroda.com/>

幼少よりピアノを学び、早稲田大学に進むが、20 歳で尺八に転向。青木鈴募（人間国宝）二代及び三代両氏に師事。東京藝術大学に入り直し、大学院も修了。コンクールの優勝多数。アジア、西欧東欧、南米など各地で演奏。令和元年度「文化庁文化交流使」に任命。室内楽、オペラからハリウッド映画「将軍」の録音など多岐にわたり活躍。Shakuhachi 5 のメンバー。旭滝にあった龍源寺で作られた尺八曲「伊豆鈴募」演奏予定。